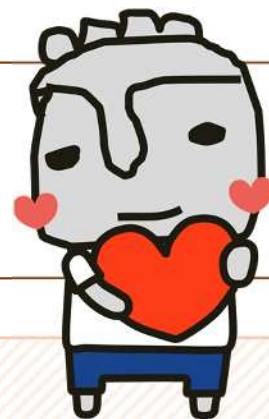


新時代に向けた「優しく力強い白杵市」の実現をめざして

令和6年度 施策の方針と当初予算



施策の方針

令和6年度は本市にとって、記念すべき節目の年です。平成17年1月1日、旧白杵市と旧野津町の合併から、令和7年1月1日に合併20周年を迎えます。20周年を迎えるにあたり、記念事業等を行い、市民の皆様と祝い、本市のさらなる発展、明るい未来に向けて取り組む年にしたいと思います。

令和6年度は、市長4期目の任期最終年であり総仕上げの年です。特に人口減少、少子高齢化を念頭に「優しく力強い白杵市づくり」に向けて、「チーム白杵」の総力をもって、これまで一貫して取り組んできた「住み心地一番のまちづくり」の諸施策を推進していく大切な1年にしたいと思います。

さらに、白杵の将来の基盤づくりにつながる取組として、

- ①「旧野津高校の跡地再活用」
 - ②「旧不燃物埋立処分場跡地」に、現在整備中の「パークゴルフ場の活用」
 - ③「中九州道吉野インターチェンジに接続するアクセス道路の整備」
 - ④「野津東部工場用地を活用しての企業誘致」
 - ⑤国の「こども未来戦略」に基づく加速化プランを活用した少子化対策の充実
- の5点に取り組めます。これらの「将来の白杵の活力となる基盤づくり」に繋がる施策を実行し、「若い世代が希望の持てる白杵づくり」となるよう、各施策に積極的に取り組んでいきます。

予算編成・6つの施策

令和6年度当初予算は、第2次白杵市総合計画に掲げた「日本の心が息づくまち」を基本に、重要課題である人口減少問題の克服に向け「白杵市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重点プロジェクトに取り組み、「優しく力強い白杵市」づくりに繋げて行くため「6つの施策」を柱に予算編成を行いました。

- ① 安心して子どもを産み、子育てできる環境づくりの取組
- ② 高齢者が地域で生き生きと暮らせる環境づくりの取組
- ③ 地域資源を活かした産業振興の取組
- ④ 移住定住の促進の取組
- ⑤ 安全性の高い、災害に強いまちづくりの取組
- ⑥ 持続可能な市役所づくりの取組

これら方針と諸施策に基づき予算編成を行った結果、令和6年度一般会計予算の歳入歳出総額は、22億7,090万6千円で、前年度と比較しますと、8,816万9千円、0.4%減の予算となりました。

令和6年度は、引き続き物価高騰の状況を注視しつつ、白杵市総合計画と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げたまちづくりの最終年度であるため、その実現に向けて積極的に取り組みます。

新時代に向けた「優しく力強い白杵市づくり」に挑戦し、「住み心地一番のまちづくり」のさらなる発展に向けて、確かな成果を出す1年にしたいと決意しています。

〈令和6年度の主な事業〉

令和6年度当初予算では、第2次臼杵市総合計画に掲げた「日本の心が息づくまち」を基本に、重要課題である人口減少問題の克服に向け「臼杵市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重点プロジェクトに取り組み、「優しく力強い臼杵市」づくりに繋げて行くため「6つの施策」を柱に予算編成を行いました。

1. 安心して子どもを産み、子育てできる環境づくりの取組（希望）



▲宣言時の様子

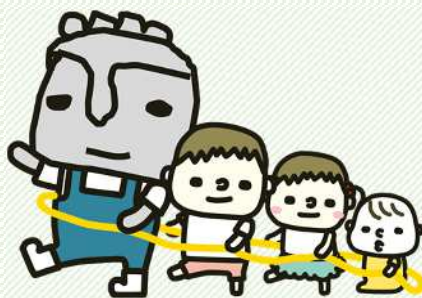
国が掲げる「こどもまんなか社会」の実現に向け、「こどもまんなか応援サポーター」を宣言しました。児童手当、児童扶養手当の拡充、こども誰でも通園制度の試行的実施や病児保育事業における送迎支援など、国の制度を活用し実施します。

本市独自の取組として、子ども医療費助成事業について18歳までの高校生世代の入院・通院医療費を完全無料化します。

また、不妊治療費助成額の拡充や、妊産婦医療費助成事業の助成期間の拡充など、安心して子どもを産み、育てる環境の充実・強化に取り組んでいきます。

子どもの遊び場の充実について、令和7年度に開港が予定されている新臼杵港の緑地部分に、新たに遊具整備を計画しています。

教育環境では、ICTを活用した教育の充実を図るため、全小中学校の普通教室、特別支援教室及び理科室に電子黒板を導入します。



・こども誰でも通園制度試行的事業	・・・	600万円
・子ども医療費助成事業	・・・	1億3,500万円
・不妊治療費助成事業	・・・	160万円
・子どもの遊び場整備事業	・・・	300万円
・臼杵市民球場大規模改修事業	・・・	4,665万円
・小中学校電子黒板導入事業	・・・	3,542万円

2. 高齢者が地域で生き生きと暮らせる環境づくりの取組（安心）

「うすき石仏ねっと」の取組や、健診内容の充実による早期発見の取組、地域包括ケアの推進などにより、国保医療費の抑制が図られていることから、令和5年度に引き続き国民健康保険税を減額します。

新たな取組として、50歳以上の市民を対象に、带状疱疹ワクチン接種に係る費用の半額助成を開始します。

また、地域住民に最も身近に相談援助や見守り活動をしていただいている民生委員・児童委員について、活動費を増額します。

令和6年7月のオープンに向けて整備しているパークゴルフ場については、地域の賑わい創出とあわせ、高齢者をはじめとする市民皆様の健康づくりに資するなどの施設として活用していきます。



▲パークゴルフ場
(3月中旬の様子)

・国民健康保険税減税（国民健康保険特別会計）	・・・	2,682万円
・带状疱疹ワクチン接種助成事業	・・・	1,330万円
・民生委員活動事業	・・・	1,248万円
・パークゴルフ場事業	・・・	2,463万円

3. 地域資源を活かした産業振興の取組（活力）

農業では、イチゴ、ピーマン、ニラなどの生産性の向上を図るため、生産施設や機械整備に対する補助を、林業では、森林環境譲与税を活用し、未整備林の整備に取り組みます。

ユネスコ創造都市ネットワークの取組については、創造都市間の情報共有や食文化分野での交流を図るとともに、食に関するイベントの規模拡大や市民の自主イベントに対する助成を行います。

城下町の歴史的建造物を活用した体験型観光ツアーなど、新たな観光コンテンツの造成に努めます。

また、ふるさと納税の更なる促進のため、魅力的な産品づくりを行い、地場産品の需要拡大の相乗効果を図ります。

・次代へ繋ぐ園芸産地整備事業	・・・	7, 264万円
・未整備林整備促進事業	・・・	4, 055万円
・臼杵食文化創造都市推進事業	・・・	3, 762万円
・観光コンテンツ造成事業	・・・	84万円
・ふるさと納税促進事業	・・・	1億8, 150万円



▲USUKI VENUE（ウスキベニュー）

4. 移住・定住の促進の取組（安心）

移住・定住施策として、大きな効果がある家賃補助や新築・改修に対する補助金などを継続して実施します。住環境づくりの取組として、令和4年度から取り組んでいる野津中学校隣接地の宅地開発について令和6年度から部分的に造成を開始します。



▲大漁まつり（上浦・深江振興協議会）

また、市街地の狭あい道路については、市内の昔からある住宅地をモデルケースに生活道路の整備方を検討し、住環境の整備を進めます。

地域の核となる地域振興協議会については、地域による活動やイベントが活発化していることから、新たな助成金メニューを追加します。

・定住促進事業	・・・	6, 254万円
・定住促進対策宅地整備事業	・・・	1億円
・安全快適くらしの道整備方針策定事業	・・・	528万円
・地域振興協議会活動補助金	・・・	1, 260万円

5. 安全性の高い、災害に強いまちづくりの取組（安心）

市指定避難所の機能強化として、本市が整備している指定避難所の設備や装備、備蓄品等の状況を見直します。

消防団の充実強化として新たに団員報酬を国の基準へ引き上げるとともに、消防団拠点施設や消防ポンプ自動車の更新等を進め、消防力の強化を図ります。

また、県内自治体と進めている消防指令業務共同運用事業については、令和6年10月稼働開始に向け、システムの設置など着実に準備していきます。

・防災施設整備事業	・・・	2, 616万円
・災害情報ボックス整備事業	・・・	3, 000万円
・防災備蓄等整備事業	・・・	2億7, 222万円



▲臼杵市一斉総合防災訓練

6. 持続可能な市役所づくりの取組（活力）

新型コロナウイルス感染症による新しい社会づくりが求められる中で、デジタル化・ICT技術を活用して、利便性の高い効率的な市役所づくりに取り組みます。マイナンバーカードの取得促進と併せて、デジタル申請、行政手続オンライン化の推進、自治体情報システムの標準化・共通化に取り組みます。



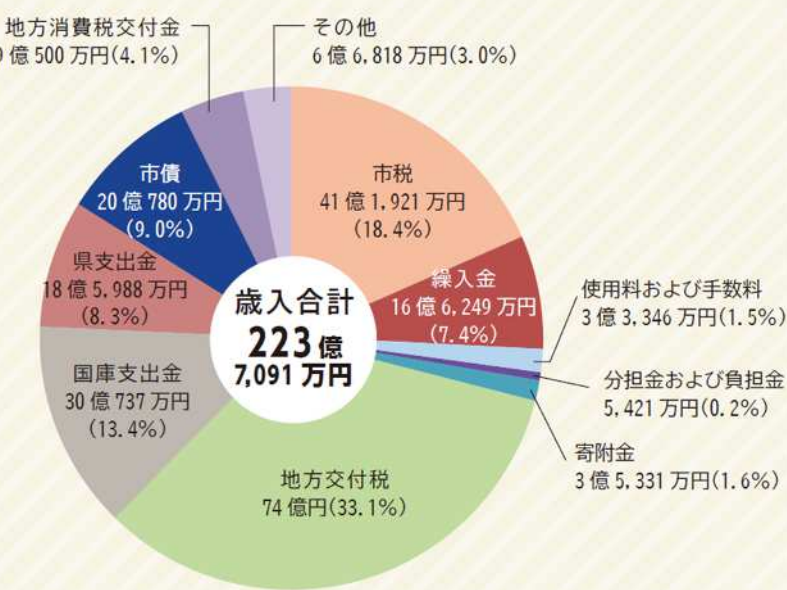
▲オンライン相談窓口（うすきラクまど）

新たな取組として、議会本会議及び各種委員会等において、タブレット端末を導入します。

本市の市政運営の指針となる「第3次総合計画」の策定を進めることで、長期的な臼杵市の将来を見据え、本市のあるべき姿と進むべき方向について、幅広い意見をいただきながら検討していきます。

・議会タブレット導入事業	・・・	440万円
・総合計画策定事業	・・・	1, 760万円
・新臼杵市施行20周年記念事業	・・・	543万円

当初予算



歳入

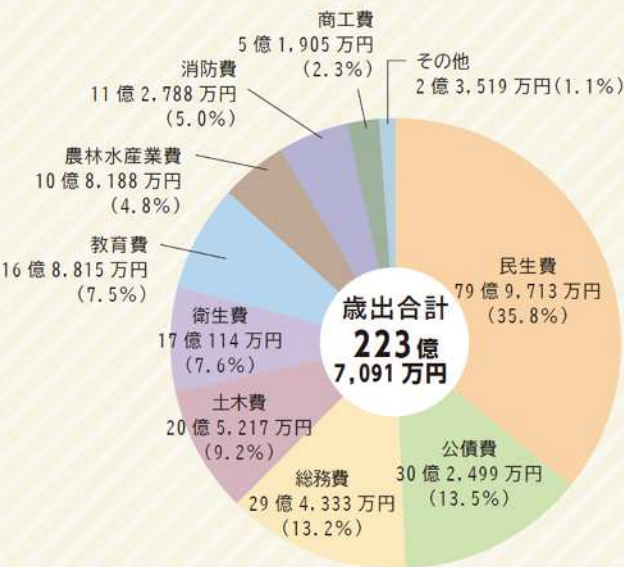
市税は固定資産税などにおいて増加が見込まれることから、前年度対比6.8%の増加見込です。

国庫支出金については、デジタル基盤改革支援事業費補助金や重層的支援体制整備事業交付金の増加などにより前年度対比2.9%の増加見込です。

県支出金については、次代に繋ぐ園芸産地整備事業費補助金や漁港施設機能強化事業費補助金の減少などにより前年度対比13.9%の減少見込です。

繰入金については、減債基金の取り崩し額の減少により、前年度対比6.6%の減少見込です。

市債については、清掃センター周辺環境整備事業や漁港施設機能強化事業などの減少により、前年度対比3.4%の減少見込です。今後も計画的な取組を行います。



歳出

安心して子どもを産み、子育てできる環境づくりの取組として、子ども医療費助成事業について18歳までの高校生世代の入院・通院医療費を完全無料化します。

高齢者が地域で生き生きと暮らせる環境づくりの取組として、50歳以上の市民を対象に、带状疱疹ワクチン接種に係る費用の半額助成を開始します。

地域資源を活かした産業振興の取組として、ユネスコ創造都市ネットワークの取組においては、創造都市間の情報共有や食文化分野での交流を図るとともに、食に関するイベントの規模拡大や市民の自主

イベントに対する助成を行い、人材育成、食関連産業の振興を図ります。農業では、園芸農業などの施設や機械導入への助成を実施し、農業振興の充実を図ります。

移住・定住の促進の取組として、野津中学校隣接地の宅地開発について令和6年度から部分的に造成を開始します。

安全性の高い、災害に強いまちづくりの取組として、県内自治体と進めている消防指令業務共同運用事業については、令和6年10月稼働開始に向け、システムの設置など着実に準備を進めます。

特別会計予算

(単位:万円)

水道事業会計		112,790	浄化槽整備推進事業特別会計	1,005
下水道事業会計		183,292	国民健康保険特別会計	502,027
下水道事業 会計内訳	公共下水道事業	157,312	介護保険特別会計	526,803
	特定環境保全公共下水道事業	12,317	後期高齢者医療特別会計	93,200
	農業集落排水事業	12,489		
	漁業集落排水事業	1,174		